平成 15 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名　化学物質の地域リスク評価手法に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
○　研究成果の学会への投稿を積極的に行って欲しい。	○　本研究は特定研究として当センターの重点課題に位置づけられています。それ故、行政からの本研究に対する期待も大きく、結果については積極的に論文等にまとめ、学会へ投稿するとともに、行政に向けては施策の提言に繋がるように成果の活用を示していきます。
○　今回対象としている物質が、全体のリスクと比較してどの程度の寄与があるかについても示した方が良いと思われる。	○　寄与率の算定は重要なことと考えていますが、化学物質に関する全環境リスクを算定する手法は現在のところ確立されていないので、本研究で扱う化学物質の全環境リスクに対する寄与を示すことも難しい状況にあります。
○　新しいテーマでもあるため、研究成果は積極的に研究論文とするとともに、全体の成果を報告書としてまとめて欲しい。	○　前半の指摘については、村林委員長の指摘事項に対する回答に代えさせて頂きます。全体の成果については、論文の投稿とは別に、特定研究の報告書として全体をとりまとめた報告書を作成します。
○　県民への情報公開にも役立つことから、継続して十分な研究を進めて欲しい。	○　環境リスクの評価は重要な課題と考えているので、本研究終了後も継続して研究を進めていく予定です。

平成 15 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名　化学物質の地域リスク評価手法に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
○　行政の意見も取り入れて進めた方が良い。	○　内部課題評価の中で関係行政機関の評価を受け、意見をとり入れています。今後とも行政と連携を密にして研究を進めていきます。
○　多くの研究者でやることの意義を積極的に出すようにして欲しい。	○　環境リスク評価を最終目標に各研究者が専門分野を分担し、得られた成果に対して意見交換を行い、分野間の理解を深め、研究員の資質の向上を図ります。
○　環境リスク評価については、各種モデルの結果の整合性に注意して欲しい。	○　各種モデルの利用領域、初期条件・境界条件などに留意して環境リスク評価を行います。
○　SPM および光化学オキシダント対策として VOC を規制する動きがあり、そうした観点からの取りまとめも視野に入れておく必要がある。	○　ご指摘の点は重要なことと考えておりますが、本研究は環境リスク評価を目的としているので、SPM 及び光化学オキシダント対策の見地からの検討は予定しておりません。
○　河川評価についての計画は、実施の進行と共に内容のより詳細な詰めを計って欲しい。	○　進行に合わせて詳細な計画をつくり、実施いたします。